

2005年6月1日

福島大学全学再編記念式典開催される

第57回の福島大学開学記念日（5月31日）を迎えた6月1日、福島大学全学再編記念式典が470名の関係者を集めて、福島テルサで開催された。この全学再編の中心的課題であった福島大学理工学群の創設は、来賓として招かれた結城章夫文部科学事務次官から「理工学群の創設による文理融合の新たな人材養成はすばらしいことだ」とする挨拶をはじめとし、佐藤福島県知事のメッセージを代読した川手晃副知事や瀬戸孝則福島市市長、佐藤勝三福島県商工会議所連合会長から地元貢献への熱い期待が述べられた。また、引き続き「科学技術とわが国の未来」と題して記念講演を行った阿部博之前東北大学総長からは、これまで全国の国立大学がミニ東大大型大学創りを目標としてきたため教育の画一化をもたらした新たな知の創造が困難になっていることや、これまでの歴史でも新たな発見や技術開発が異分野間交流で生まれていることを指摘すると同時に、文理融合の実質化を図った福島大学の全学再編のあり方に期待が寄せられた。



全学再編記念式典で挨拶する白井学長



2階席まで一杯になった記念式典参加者

福島市市長、佐藤勝三福島県商工会議所連合会長から地元貢献への熱い期待が述べられた。また、引き続き「科学技術とわが国の未来」と題して記念講演を行った阿部博之前東北大学総長からは、これまで全国の国立大学がミニ東大大型大学創りを目標としてきたため教育の画一化をもたらした新たな知の創造が困難になっていることや、これまでの歴史でも新たな発見や技術開発が異分野間交流で生まれていることを指摘すると同時に、文理融合の実質化を図った福島大学の全学再編のあり方に期待が寄せられた。